

《新条項》

別表(1)

教育課程及び授業日時数

インテリアデザイン科

課程		専門課程			単位表示		
学科		インテリアデザイン科					
科目		第1学年	第2学年	第3学年	第1学年	第2学年	第3学年
一般科目	1 コミュニケーション活動Ⅰ	60			2		
	2 コミュニケーション活動Ⅱ		60			2	
	3 コミュニケーション活動Ⅲ			60			2
	4 色彩学	60			2		
	5 デザインアプリケーションⅠ	120			4		
	6 デザインアプリケーションⅡ		30			1	
	7 図学Ⅰ	120			4		
	8 図学Ⅱ		90			3	
	9 構造力学		90			3	
	10 建築材料Ⅰ	120			4		
	11 建築材料Ⅱ			120			4
	12 基礎製図Ⅰ	180			6		
	13 基礎製図Ⅱ		120			4	
	14 基礎製図Ⅲ			90			3
	15 設計製図Ⅰ	120			4		
	16 設計製図Ⅱ		180			6	
	17 環境工学	120			4		
	18 一般構造		120			4	
	19 建築法		30			1	
	20 建築生産		30			1	
	21 建築設備		30			1	
	22 ビジネスプラン		30			1	
	23 ポートフォリオ制作Ⅰ		30			1	
	24 ポートフォリオ制作Ⅱ			30			1
	25 建築計画			570			19
	26 キャリアプラン		30			1	
	27 産学連携プロジェクトⅠ	30			1		
	28 産学連携プロジェクトⅡ		30			1	
	29 産学連携プロジェクトⅢ			60			2
	30 研修旅行		60			2	
	49 色彩検定3級講座		30			1	
	50 色彩検定2級講座		30			1	
	51 色彩検定1級講座		30			1	
	52 色彩検定UC級講座		30			1	
	53 パーソナルカラー(モジュールⅠ)講座		30			1	
	54 パーソナルカラー(モジュールⅡ)講座		30			1	
	55 ビジネス実務マナー検定講座		30			1	
	56 マンガ検定講座		30			1	
	57 イラストレーター基礎講座		30			1	
	58 フォトショップ基礎講座		30			1	
	59 イラストレーター検定講座		30			1	
	60 フォトショップ検定講座		30			1	
	61 3DCAD基礎講座		30			1	
	62 2DCAD基礎講座		30			1	
	63 SNS活用		30			1	
	64 写真		30			1	
	65 映像編集講座		30			1	
	66 ビジネスアプリケーション		30			1	
	67 デッサン演習		30			1	
	68 イラストレーション基礎		30			1	
	69 イラストレーション演習		30			1	
	70 ファッションデザイン画		30			1	
	71 素材研究(金)		30			1	
	72 素材研究(革)		30			1	
	73 英会話講座		30			1	
	74 中国語基礎講座		30			1	
	75 韓国語基礎講座		30			1	
	76 心理		30			1	
	77 アロマテラピー		30			1	
	78 茶道		30			1	
	79 華道		30			1	
	80 コピーライティング講座		30			1	
	81 ラッピング講座		30			1	
	82 服飾造形基礎		30			1	
	83 知的所有権講座		30			1	
	84 フラワーアレンジメント講座		30			1	
	85 モデルウォーキング		30			1	
	86 セルフプロモーション講座		30			1	
	87 作品制作		30			1	
	88 就職講座		30			1	
	89 デザインプロジェクト活動		30			1	
	90 地域連携プロジェクト活動		30			1	
	91 資格取得講座Ⅰ		30			1	
	92 資格取得講座Ⅱ		30			1	
	93 SDGs推進プロジェクト		30			1	
	94 ボランティア活動Ⅰ		60			2	
	95 ボランティア活動Ⅱ		30			1	
	96 インターンシップⅠ		60			2	
	97 インターンシップⅡ		30			1	
	98 チャレンジプログラムⅠ		30			1	
	99 チャレンジプログラムⅡ		30			1	
	100 チャレンジプログラムⅢ		30			1	
	101 チャレンジプログラムⅣ		30			1	
	102 チャレンジプログラムⅤ		30			1	
単位合計					32	33	32
年間履修時間数		960	990	960			
年間授業日数		180	180	180			

注) 共通選択科目は1年次30時間以上、2年次90時間以上、3年次30時間以上履修しなければならない

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
コミュニケーション活動Ⅱ			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	50	1	岩崎 京子
授業の目的・目標					
様々な活動を通して学科単位、クラス単位、学校単位でのコミュニケーションを図る。					
授業の概要					
主に学校行事、学科活動を行う活動授業とする。デザインを学ぶ学生の基本姿勢として、自分の足で情報を収集し、得た情報を分析し自分自身のアイデアに反映する等のデザイン訓練を行う。静岡県内に限らず、各地で開催される展示会やイベントを視察する。					
成績評価の方法					
1、平常点（主体的な授業参加度・出席率） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢）					平常点 50% 課 題 50%
使用テキスト・教材					
必要に応じてテキストやパンフレットを配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	始業式	2	16.	学科活動	2
2.	終業式	2	17.	学科活動	2
3.	球技大会	2	18.	卒業制作展視察	2
4.	他、学校行事	2	19.	卒業制作展視察	2
5.	東京研修	2	20.	卒業制作展視察	2
6.	東京研修	2	21.	卒業制作展視察	2
7.	東京研修	2	22.	卒業制作展視察	2
8.	東京研修	2	23.	卒業制作展視察	2
9.	東京研修	2	24.	卒業制作展視察	2
10.	東京研修	2	25.	卒業制作展視察	2
11.	東京研修	2	26.		2
12.	東京研修	2	27.		2
13.	学科活動	2	28.		2
14.	学科活動	2	29.		2
15.	学科活動	2	30.		2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
建築材料Ⅱ			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	120	4	鈴木 健吾 川松 夕見子 本野 智美 岩崎 京子
授業の目的・目標					
近年需要が増えてきているエクステリア業界へ就職先を考慮する際に、有利になるような基本的な知識を身につける。就職後の実務に対応できる。2級エクステリアプランナーの取得希望者にプラスになる。 ①日常の様々なシーンや仕事で活用できるプレゼンスキルとその考え方を理解する。②卒業研究や作品を、相手にわかりやすく効果的にプレゼンできるようにする。③コンセプトを明確にし、相手が共感/納得できるストーリーに組み立て、それを スライドやファイルなどの形に落とし込んで表現する力を身につける。					
授業の概要					
エクステリアプランの作成、製図、パース、プレゼンボード、模型の作成、制作。 聞く人にわかりやすく、作品の狙いや魅力を効果的に伝えられるプレゼンテーションを目指して、準備段階での情報整理・シナリオ構成、実施段階での表現・伝達・質疑応答まで、プレゼンの様々な要素をシミュレーションしながら学ぶ。 また、プレゼンテーションツールとしてのファイル・プレゼンボードのまとめ方を学習する。					
成績評価の方法					
学習意欲50% 課題作品評価50% ・課題提出（ワークシート、卒業研究ポートフォリオ） ・卒業研究プレゼンテーション ・デザインアラモード展示用プレゼンボード				平常点	100%
				学習意欲	50%
				課題評価	50%
使用テキスト・教材					
プレゼンボード及び模型製作の為に材料を自分で用意する。					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1. エクステリアプランの計画	4	16. 卒業制作展に向けたプレゼンボード デザインワーク	4		
2. 図面作成 平面、立面	12	17. 卒業制作展に向けたプレゼンボード チェック	4		
3. パース作成	8	18.	4		
4. プレゼンボード作成	8	19. 卒業制作展に向けた作品のブラッシュアップ	16		
5. 模型制作	24	20.			
6. プレゼンテーション	4	21.			
7. 授業概要説明、卒業研究コンセプトとデザインの整合	4	22.			
8. 卒業研究最終プレゼンのシナリオ構成とパワーポイント作成	4	23.			
9. 卒業研究ポートフォリオの全体構成と情報整理	4	24.			
10. 卒業研究ポートフォリオまとめ	2	25.			
11. Web版他プレゼンツールのブラッシュアップ	2	26.			
12. 卒業制作展に向けた来場者対応	2	27.			
13. 応用編（ビジネスシーンでのプレゼン）	2	28.			
14. 卒業制作展に向けたプレゼンボード 素材整理	4	29.			
15. 卒業制作展に向けたプレゼンボード レイアウト案	4	30.			
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
基礎製図Ⅲ			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	90	3	澤本幸伸
授業の目的・目標					
2級建築士製図試験対策として、手書き製図を時間内に完成させるための方法を習得する。					
授業の概要					
2級建築士製図試験問題を演習。まず設計課題（問題文）を読み取る力からゾーニング、プランニング（エスキス）の進め方。時間内に書き上げる手書きでの作図方法。					
成績評価の方法					
課題内容、提出、課題に取り組む姿勢の総合評価。					学習意欲 50%
					課 題 50%
使用テキスト・教材					
配布プリント					
授業内容・授業計画					
1. 設計課題(問題文)を読み取り設計条件や法規、構造を理解する。					時間数 4
2. 設計課題(問題文)でのゾーニング、プランニング(エスキス)の進め方。					4
3. 設計課題(問題文)でのゾーニング、プランニング(エスキス)演習。課題提出					10
4. 設計課題(問題文)での要求図書の作図。(配置、各階平面、立面、矩計図)課題提出					12
5. オリエンテーション。パースとは？物を描くトレーニング					4
6. 1 消点図法演習①					20
7. 2 消点図法演習①					12
8. その他の透視図①					8
9. 最終課題					4
10. 最終課題					4
11. 最終課題					4
12. 最終課題					4
13.					
14.					
15.					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
ポートフォリオ制作Ⅱ			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	岩崎 京子
授業の目的・目標					
2年次に制作したポートフォリオをさらにクオリティアップさせ、就職面接の際に実践的に活用できるポートフォリオの最終完成を目指す。					
授業の概要					
進路を意識したポートフォリオとしての、更なるブラッシュアップ。					
成績評価の方法					
授業への取り組みの真剣度と最終提出物での評価				学習意欲	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
特になし					
授業内容・授業計画					
1. 2年次に制作したポートフォリオのチェック～修正ポイント抽出 2. 3. 4. 5. 各自必要とするポイントを修正していく 6. 7. ・各作品のコンセプト強化 8. ・制作工程の説明方法など再度見直し 9. ・作品の魅力をより引き出す撮影 10. ・図面の精度向上 11. ・ラフスケッチなどの追加 12. →よりコミュニケーションがとれるポートフォリオへ進化させる 13. ・最終チェック 14. 15. 講評会					時間数 4 24 2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			ポートフォリオ制作Ⅰ		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
建 築 計 画			講義・演習		インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	150	5	小沼 勝也		
授業の目的・目標							
①2年間学んできたことの集大成であり、実社会へ踏み出す上での大きな実績をつくるための最も重要な授業である。それは自分自身の内面のことでもあるが、外部の人や企業からの評価を受ける場でもある。 ②予め素材の知識、加工の知識及び実践を経験することにより卒業研究をより幅が広くより深いものにして行く。 ③3年間の集大成である卒業制作展に向けて、展示ブースの計画。卒業制作展の搬入から設営、搬出までの一連の流れをスムーズに行えるような計画。④自分の作品をより綺麗に撮影する技術を学び、卒業制作展に活用するパネル及び写真集に使用する□							
授業の概要							
テーマ探し(調査・研究・資料収集)から始まり作品の制作・プレゼンテーションまでの一連の作業を長い時間をかけて完成させる。様々な素材でその素材の特徴をいかしたものを制作。 作品展示のための展示計画、必要に応じ展示材料、備品の製作。							
成績評価の方法							
授業に取り組む姿勢、作品の評価、プレゼン力の評価。					学習態度	50%	
					作品評価	50%	
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 計画、プランゾーニング			12				
2. プランチェック			4				
3. 配置及び平面図			10				
4. 展開図			8				
5. 立面図・断面図・詳細図等			12				
6. 図面チェック			4				
7. パース			8				
8. 模型制作			20				
9. 最終審査			2				
10. 最終プレゼンテーション			2				
11. 作品ブラッシュアップ			8				
その他			関連科目				

シラバス(授業概要)			年 度		2025年度		
			時間数は45分換算		科目コード		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
建築計画			講義・演習		インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	60	2	小杉 陽子		
授業の目的・目標							
・今までに学んだことをもとにした挑戦の課題とする。 ・各 自分が興味のあるテーマを見つけ、調査により導き出された結果に自分の発想をプラスした作品を制作する。 ・提出期限 を厳守するための自身のスケジュール管理を身につける。							
授業の概要							
3年間の集大成となるため、今まで学んだことを自分の興味や関心に結びつけ、新たな視点を盛り込んだ作品となるものを目指す。							
成績評価の方法							
1.出席状況		2.		作品評価	70%		
授業態度(意欲的か、課題完成までのスケジューリングができているか)				授業態度	20%		
3.課題の完成度(アイデア・想像力、コンセプト・着目点、製図の出来栄え)の上、課題を締切厳守で提出した上で総合的に評価する。課題未提出は成績評価は行わない。				出席状況	10%		
使用テキスト・教材							
・課題の条件を読み解き、条件に合った中で自分のアイデアを具現化し、他者に考えを伝える方法を学ぶ。また、完成までの過程を自身で管理し、提出期限を厳守する。							
授業内容・授業計画							
1～8		・テーマ、コンセプトの決定	8	的な建物のプランもおおまかに考えていく。 また、敷地周辺の調査、参考資料の収集を行う。			
		制作内容が決まっている学生にはより内容の充実を図り、細かな部分も目が行き届いているかを確認する。		17		16	
		具体的に決まっていない学生には、まずは、身近なことの中で思う疑問や提案を挙げて、その中からテーマとして膨らましていける材料を探す。		～32 参考写真、資料等を調査・探索し 作図する。			
		9～16	・具体的な内容へ発展させる	8	33		28
		各自制作したい作品のテーマをいくつか出し合い、なぜそれをやるのかの根本的な部分を含め、作品のコンセプトの内容をより深く詰めていく。その探究の際に、具体		～60 図面を元に、模型作りを行う。			
その他			関連科目				
※単元ごとと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
建築計画			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	岩崎 京子
授業の目的・目標					
3年間の集大成である卒業制作展に向けて、展示ブースの計画。卒業制作展の搬入から設営、搬出までの一連の流れをスムーズに行えるような計画。自分の作品をより綺麗に撮影する技術を学び、卒業制作展に活用するパネル及び写真集に使用する写真を撮影する。□					
授業の概要					
作品展示のための展示計画、必要に応じ展示材料、備品の製作。 作品写真撮影。作品パネルの作成。					
成績評価の方法					
授業に取り組む姿勢、作品の評価、プレゼン力の評価。				学習態度	50%
				作 品	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 展示会場の見学、計測、設備・備品確認					2
2. 展示ブースの計画					4
3. 展示ブースの備品製作					4
4. 展示会場の照明計画					2
5. 展示会場の備品計画					2
6. 搬入・搬出計画					8
7. 搬入準備					8
8.					
9.					
10.					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
建築計画			講義・演習		インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	前期	必修	60	2	小杉 陽子		
授業の目的・目標							
・条件を読み取る力、プランニングに必要とされる技術を身につける。 自分の制作した作品に自信を持ち、クライアントを納得させるプレゼン方法を知る。 出期限を厳守するための自身のスケジュール管理を身につける。							
授業の概要							
・課題の条件を読み解き、条件に合った中で自分のアイデアを具現化し、他者に考えを伝える方法を学ぶ。 完成までの過程を自身で管理し、提出期限を厳守する。 面、パースを作製し、A2サイズのプレゼンボードにレイアウトした完成作品をデータにて提出。							
成績評価の方法							
1.出席状況 2.授業態度(意欲的か、課題完成までのスケジューリングができているか) 3.課題の完成度(アイデア・想像力、コンセプト・着目点、製図の出来栄え)の上、課題を締切厳守で提出した上で総合的に評価する。課題未提出は成績評価は行わない。					作品評価	70%	
					授業態度	20%	
					出席状況	10%	
使用テキスト・教材							
建設予定地の敷地図、各種条件等を、2級建築士製図試験の問題用紙形式にて出題。							
授業内容・授業計画							
1～8 出題された条件にあったコンセプトを設定を基に、指定された敷地内への平面計画を始める。 この際、テーマ、コンセプト、周辺の環境を考えながら、頭に閃いたことをメモし、いくつかアイデアを出していくようにする。			時間数 8	33	完成した平面図を基に、全体の高さ～52 関係を確認しながら、断面図1面、立面図4面作図、必要であればパースを作製し、A2プレゼンボードにレイアウトしてまとめる。		時間数 20
9～16 コンセプトを基に、スケッチを作製しながら、具体的に進められるプランに整理し、作図できるように内容を完成させる。			8	53	まとめたプレゼンボードを使って、～60 各自作品をプレゼンテーションする。		8
17～32 スケッチを基に、まず平面図を作図する。(外構計画も計画する)			16				
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
建築計画			講義・ 演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	宮沢 千夏子
授業の目的・ 目標					
①インテリアコーディネーター2次試験問題対策に繋げ、条件を読み解きプランニングできるスキルを身に付ける。 ②美しく見やすい正確なインテリア図面が描くスキルを習得する。					
授業の概要					
①インテリアデザインにおける基本的な間取りの構成やルールを理解し、素早く綺麗に図面に表現する手法を学ぶ。 ②インテリアエレメントの種類や特徴を理解をし、プランに反映する。					
成績評価の方法					
1、課題(提出率、講義の内容を踏まえ、プランニングができているか)					課 題 50%
2、平常点(主体的な授業参加度)					平常点 30%
3、学習意欲(学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢)					学習意欲 20%
使用テキスト・ 教材					
必要に応じてプリント配布。場合により「インテリアコーディネーター合格教本 上巻・下巻」の用意。					
授業内容・ 授業計画					
			時間数		時間数
1.	インテリアコーディネーター試験の概要		2		
2.	平面基礎演習①		2		
3.	平面基礎演習②		2		
4.	平面基礎演習③		2		
5.	展開図の演習①		2		
6.	展開図の演習②		2		
7.	家具図の演習		2		
8.	論文演習①		2		
9.	論文演習②		2		
10.	二次試験過去問題演習①		2		
11.	二次試験過去問題演習①		2		
12.	二次試験過去問題演習②		2		
13.	二次試験過去問題演習②		2		
14.	二次試験過去問題演習③		2		
15.	二次試験過去問題演習③		2		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
建築計画			講義・演習		インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	前期	必修	30	1	ふじた ともこ 萩原一浩		
授業の目的・目標							
空間を生かす照明提案をできるようになる							
授業の概要							
商業施設の照明デザインを学び、素材や空間デザインに有効な照明プランを検証していく							
成績評価の方法							
課題と学習意欲から評価					出席	10%	
					学習意欲	40%	
					課題	50%	
使用テキスト・教材							
プリントを配布する							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	照明デザイン事例の採集		2				
2.	施設・空間毎のデザイン手法		2				
3.	照明事例見学		2				
4.	照明事例見学		2				
5.	店舗照明の素材と光源の選択方法		2				
6.	照明課題 1		2				
7.	照明課題 1		2				
8.	照明課題 1		2				
9.	照明課題 1		2				
10.	講評		2				
11.	写真撮影		10				
12.							
13.							
14.							
15.							
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
建築計画			講義・演習		インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	前期	必修	60	2	長尾 隆行		
授業の目的・目標							
実践的な店舗設計が行えるよう、職業感覚、空間感覚を身につける。							
授業の概要							
実践的な店舗設計（物販、飲食）が行えるよう、実店舗の仕事内容、スタッフ動線、お客動線の把握。保健所の営業許可申請を意識した厨房内の設計、仕上げの決定など、具体的な内容の把握。							
成績評価の方法							
1. 課題（提出率と提出された課題の完成度） 2. 平常点（主体的な授業参加度） 3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取組む姿勢） これらを総合的に評価したうえで決定する。					出席	50%	
					学習意欲	30%	
					課題	20%	
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1.	皆、私の自己紹介(二年目なんでより詳細に)		4				
2.	生徒のお気に入りのお店見学		4				
3.	リノベーション事例見学		8				
4.	飲食店店主のお話		2				
5.	店舗照明の素材と光源の選択方法		2				
6.	保健所(営業許可について)		2				
7.	一階ギャラリー採寸（他 良い現場あれば）		2				
8.	物販プラン(エスキス)		12				
9.	飲食プラン（エスキス）		12				
10.	物販か飲食決めて製図		8				
11.	発表		4				
12.							
13.							
14.							
15.							
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
建築計画			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	30	1	青木 秀知 保科 康浩
授業の目的・目標					
社会人になるための心構えとスキルを養う ①組織の中で効率よく働くためのノウハウを訓練する ②社会人一年生が直面する不安の解消 ③営業スキルの基礎を学び体験する					
授業の概要					
ロープレや演習（ゲーム）を通して、会社（チーム）で働くイメージを体感します。 その際に必要なノウハウ、スキルを修得。 「人が何を考えているのか？」傾聴し、共感し、それでいて目的に向かって成果を残す、社会に出るまでの不安解消の為の授業。					
成績評価の方法					
授業に没入する積極性 ①授業態度 出席 ②課題（ロープレ等）に取り組んだ数 ＝ 「私、やります！」の数 ③自分の事として気づいた数 ＝ 「なるほど！」の数				平常点	40%
				積極性	30%
				納得度	30%
使用テキスト・教材					
独自に制作したワークシート チームで実践するゲームやロープレ演習					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	チームで働く時に何が必要か。				3
2.	●話し方、敬語のセオリー				1
3.	エピソードヒアリング(人の話を聴く)				3
4.	●電話の受け方、伝わり易い話し方。				1
5.	共感のスキル と 話し方の極意				3
6.	●時間を守る、納期を守る。				1
7.	プレゼンテーション（ベネフィットを語る）				3
8.	●仕事の受け方、守破離で成長				1
9.	場づくり（商談の冒頭5分の大切さ）				3
10.	●タスクの進め方、成功は細部に宿る				1
11.	社会人に必要なPCスキルについて				2
12.	レーザー加工用Illustratorデータの作成				2
13.	レーザー加工の実際				2
14.	3Dプリント用SketchUpデータの作成				2
15.	3Dプリンターの実際				2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
建築計画			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	川松 タ見子
授業の目的・目標					
・社会動向や市場環境の変化を理解し、消費者ニーズを作品やデザインに落とし込めること。 ・卒業研究の企画を、背景や根拠となる情報をベースに、独自性のあるコンセプトとして組み立てること。					
授業の概要					
・マーケティングの基本概念に基づいて、卒業制作のリサーチと裏付け情報の収集を行う。 ・卒業研究の企画について、マーケティングの分析ツールを活用しながら整理／構成し、その目的や効果を伝わりやすいプレゼンテーションにまとめる。					
成績評価の方法					
・ワークシート提出 ・卒業研究中間プレゼンテーション				課 題	60%
				平 常 点	20%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・スライドデータまたはプリント配布					
授業内容・授業計画					
1. 授業概要説明、ウォーミングアップ演習 2. 卒業研究テーマの整理 3. 情報収集とマーケティングリサーチ計画 4. マーケティングリサーチ実施 5. 裏づけ材料まとめとコンセプトワーク 6. コンセプト検証と具体案の方向性確認 7. 卒業研究中間プレゼンのシナリオ構成 8. 卒業研究中間プレゼンのパワーポイント作成とブラッシュアップ					時間数
					2
					4
					4
					4
					4
					4
					4
					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			制作知識（プレゼン演習）		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
建築計画			講義・演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	岩崎 京子
授業の目的・目標					
卒業制作展に向けたプレゼンボードにレイアウトするテキストデータをまとめる。作品の意図を相手に伝えるための魅力的な文章を考える。プレゼンボードにレイアウトする3Dデータの作成。					
授業の概要					
魅力的なプレゼンボードにするために、レイアウトする素材の作成。					
成績評価の方法					
授業への取り組みの真剣度と最終提出物での評価					学習意欲 50% 課 題 50%
使用テキスト・教材					
特になし					
授業内容・授業計画					
1. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの作成 2. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの作成 3. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの作成 4. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの作成 5. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの添削・修正 6. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの添削・修正 7. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの添削・修正 8. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの添削・修正 9. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの添削・修正 10. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの添削・修正 11. 卒業制作のプレゼンボードに入れる3Dパースデータ作成 12. 卒業制作のプレゼンボードに入れる3Dパースデータ作成 13. 卒業制作のプレゼンボードに入れる3Dパースデータ作成 14. 卒業制作のプレゼンボードに入れる3Dパースデータ作成 15. プレゼンボード出力データチェック					時間数 4 24 2
その他			関連科目		
※单元ごとと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			ポートフォリオ制作Ⅰ		

シラバス(授業概要)			時間数は45分換算		年 度	2025年度	
					科目コード		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
インテリアコーディネーター実践			講義・演習		インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単 位 数	担 当 教 員		
3	後期	必修	60	2	中村 真理 川松 夕見子		
授業の目的・ 目標							
インテリアコーディネーターの仕事を理解し、住宅やマンションなどに携わる職業(営業・設計・IC)に必要な知識を習得すると同時に、インテリアコーディネーター試験(学科・製図)の合格に近づく事ができる。							
授業の概要							
インテリアコーディネーターの仕事を理解し、それに必要な知識を習得する。							
成績評価の方法							
①授業態度 ②課題 ③ロープレ					授業態度	30%	
					課題	40%	
					ロープレ	30%	
使用テキスト・ 教材							
クロス・カーテンなどのカタログ							
授業内容・ 授業計画							
			時間数			時間数	
1.	インテリアコーディネーターの仕事		1	16.	講座概要、課題オリエン、情報収集		4
2.	ヒューマンスケール・家具寸法・空間スケール		1	17.	現地視察とアイデア出し		4
3.	顧客情報の読み込み・家具レイアウト		1	18.	現状分析と仮説設定		4
4.	家具レイアウト提案ロープレ①		1	19.	ターゲット設定とニーズ分析		4
5.	空間イメージ・照明器具提案プラン		2	20.	仮説検証(追加リサーチ等)		4
6.	電気記号・電気配線計画		1	21.	コンセプトワーク、企画素案まとめ		4
7.	電気配線提案ロープレ②		1	22.	ヴィジュアル案とプレゼン資料作成		12
8.	内装・設備カタログの読み込み		1	23.	プレゼン資料のブラッシュアップとプレゼン準備		4
9.	ロープレシュミレーション		1	24.	企画プレゼンテーションと講評		4
10.	内装・設備提案ロープレ③		1	25.			
11.	アクセントクロス・カーテン・家具プラン		1	26.			
12.	インテリア商材提案ロープレ④		2	27.			
13.	コーディネート事例紹介		1	28.			
14.	インテリアコーディネーター試験対策		1	29.			
15.				30.			
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							